

平成三十一年四月七日 沖繩偉光會館開所に向けて

神 示

人は皆^{人間} 神の手の中 世^{社会}に役立つ力を与えられて この世に誕生している
なれど 運命の力を引き出し 磨くすべを知らず

情報に心振り回されて生きている

信者に申す

家族で「教え」を学び 「真理」に気付き 悟りを得て「生きる」

家庭をつくるべし

「教え」が信者家族の心をつなぎ 会話のある家庭を築いてゆける
そこに 家族それぞれの運命の力は磨かれ 引き出され

生きがいある人生が手に入る

神見るに 信者は学びが薄く 神^{神霊}に心預ける気持ちが弱い

よって 運命の力が生かしきれずに 「道」欠き 外し 自ら悩み 迷い 苦しむ
今^{今日}なすべきことは一つ

家族で「教え」を学び 家族で「真理」に生きる努力を重ねる

自然と社会の姿 あるべき「道」が見えてきて 家族の心は一つにまとまってゆく
会話が重なり 心まとまる家庭に 人^{人間}の心は安定し

運命が導く人生を歩んでゆける

心正しい「信者の姿^{人生}」が ここにある

「真理」に生きる信者を目指せよ

神 示

——「教え」を学び 「心」を見詰めて生きる——

悔いなき人生 手にする極意と申す

「教え」が 皆^{信者}の心を 悔いなき^{時代}ものへと 導き 守る

今の人の姿^{人々}を見てごらん

知識と努力を頼り かなわぬ夢を追い求め 悔いを残して 人生閉じる

信者は 「教え」に生きて 「真理」を軸に「生きる」^{時代}時